

旧上瀬谷通信施設地区 まちづくりニュース

旧上瀬谷通信施設地区の現況

この度、「旧上瀬谷通信施設地区 まちづくりニュース」を発行します。

旧上瀬谷通信施設は、平成27年6月に返還された米軍施設の跡地で、約242ヘクタールの広大な土地です。

令和2年3月、まちづくりの方向性を定めた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」を策定し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」としています。

また、「公園・防災地区」の全域及び「観光・賑わい地区」の一部において、令和9年3月～9月に本地区のまちづくりの契機となる「2027年国際園芸博覧会」が開催されることが決定しています。

今後も旧上瀬谷通信施設地区で進めていくまちづくりを知ってもらうために「旧上瀬谷通信施設地区 まちづくりニュース」を発信していきます。



■ 位置図

【旧上瀬谷通信施設地区の特徴】

- ・東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接しており、広域での交通利便性が高い地区です。
- ・地区内には、まとまった農地があり、地区の大部分が市街化調整区域に指定されています。
- ・土地の所有状況は、国有地と民有地がそれぞれ45%、市有地が約10%を占めています。

主な経緯

年月	内容
平成27年 6月	上瀬谷通信施設の全域が返還
令和2年 3月	「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」の策定
令和4年 4月	旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業 都市計画決定（施行区域）、環境影響評価書の確定
令和4年 10月	旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業 事業計画決定 (事業期間 令和4年10月～令和20年度)
令和5年 1月	旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業 工事着手
令和5年 2月	旧上瀬谷通信施設地区活用事業「観光・賑わい地区」事業提案公募開始

まちづくりのコンセプト

まちづくりのテーマ

郊外部の新たな活性化拠点の形成 ～みらいまで広げるヒト・モノ・コトの行き交うまち～

【方針1】 多様な交流による、賑わいと活気のあるまち

【方針2】 活力ある都市農業と緑をいかした魅力あるまち

【方針3】 将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまち

土地利用基本計画



■ 土地利用計画図



都市整備局上瀬谷整備推進課
ホームページ

農業振興地区

賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力味わう農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成します。

観光・賑わい地区

テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点を形成します。

物流地区

東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新技術を活用した効率的な国内物流を展開する新たな拠点を形成します。

公園・防災地区

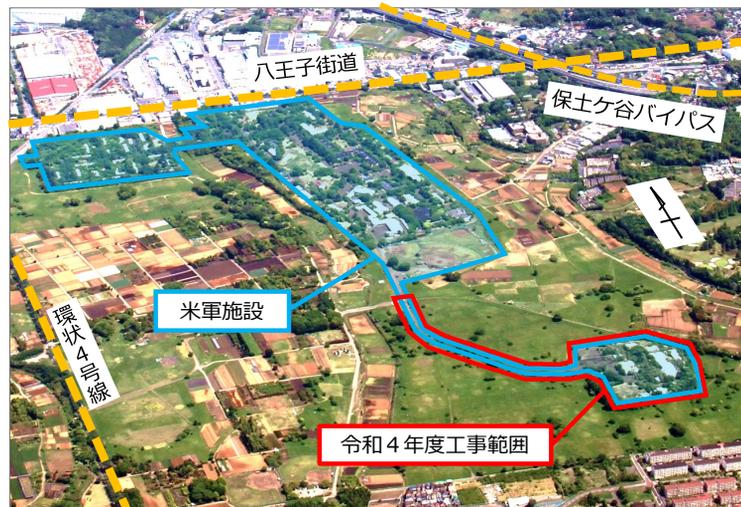
国際園芸博覧会のレガシーを継承する公園や災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）などを形成します。

米軍施設の撤去工事に着手しました



旧上瀬谷通信施設地区は米軍施設の跡地であることから、地区内には米軍の建物などが残っています。これらの撤去工事に令和5年1月に着手しました。

令和4年度は、地区南側にある米軍施設の上屋解体工事を行っており、令和5年度から地区内の施設全体の撤去工事に着手する予定です。



2027年に旧上瀬谷通信施設で開催される、国際園芸博覧会は、本市で初めて開催される「万博」です。

美しい花々や緑を楽しみ、自然の持つ魅力や機能の大切さに触れていただくとともに、最先端の園芸や農業、世界中の様々な食文化を体験できるなど、ワクワクするような魅力的なコンテンツをそろえていきます。



<2027年国際園芸博覧会協会より提供>

【2027年国際園芸博覧会の概要】

テーマ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
開催期間	2027年3月19日（金曜日）～9月26日（日曜日）
開催場所	旧上瀬谷通信施設（旭区・瀬谷区）
博覧会識別	A1（最上位）クラス
参加者数	1,500万人（地域連携やICT活用などの多様な参加形態を含む） （有料来場者数：1,000万人以上）
博覧会区域	約100ha（内、会場区域 80 ha）
開催者	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

博覧会開催1500日前となった2023年2月8日、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会から、公式ロゴマーク最優秀賞作品、博覧会の正式略称『GREEN×EXPO 2027（グリーンエクスポ ニーゼロニーナナ）』等が決定、発表されました。

【公式ロゴマーク最優秀賞作品】

※今後、必要な修正手続きを経た後、公式ロゴマークとして使用される予定です。



<公式ロゴマーク最優秀賞を受賞した、喜多 祐子（きた ゆうこ）さん>

GREEN×EXPO 2027の機運醸成に向けては、今後決定する公式ロゴマークや公式キャラクター等を活用しながら、わかりやすいパンフレット・リーフレットを作成し、博覧会の魅力を発信していきます。また、市民の皆様にご参加いただけるプログラムやイベントなどの検討も進めていきます。



海軍道路の桜を次世代に繋げるために接ぎ木イベントを開催しました

海軍道路の桜は、年々老木化が進んでいる状況にあります。
このため、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（令和4年10月策定）」をもとに桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。

令和5年2月21日に横浜市立上瀬谷小学校にて、海軍道路の桜を次世代に繋げるために5年生の児童と接ぎ木のイベントを行いました！瀬谷区区連会長や瀬谷北部町内連合会長、PTAの方々、瀬谷区長も参加し、総勢100名を超える取組になりました。



接ぎ木は、枝を使い、他の木と繋ぎ合わせる技術で、上部の枝を「穂木」、土台となるものを「台木」と呼びます。



今回は、樹木医の診断で大雨や強風で倒れる危険性があり、撤去予定の海軍道路の桜の穂木を使用しました。



「自分たちが育てた桜が、新しいまちに植えられたら嬉しい。」 参加した児童の感想



接ぎ木はなかなか難しく、成功率は約2割と低いようですが、成功すればGWには新芽が出るようです。今後は楽しみ☆

伐採木を活用したプレートを用意したところ、自分の名前だけでなく、好きな食べ物、キャラクター、言葉など、色々な使い方をしていました。子供の発想力に大人は皆感心！
接ぎ木した桜は当面の間、上瀬谷小学校で育ててくれます。



引き続き、横浜市では「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（令和4年10月策定）」に基づいて着実に事業を進めていきます。



新たな桜の名所づくり
ホームページ

